甘楽町広報

昭和39年1月15日　〈毎月15日発行〉　第51号【1頁】

発行所　群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡甲852
甘楽町役場
電話（小幡）4番・44番・49番
編集　総務課広報係
印刷所　坂本印刷株式会社

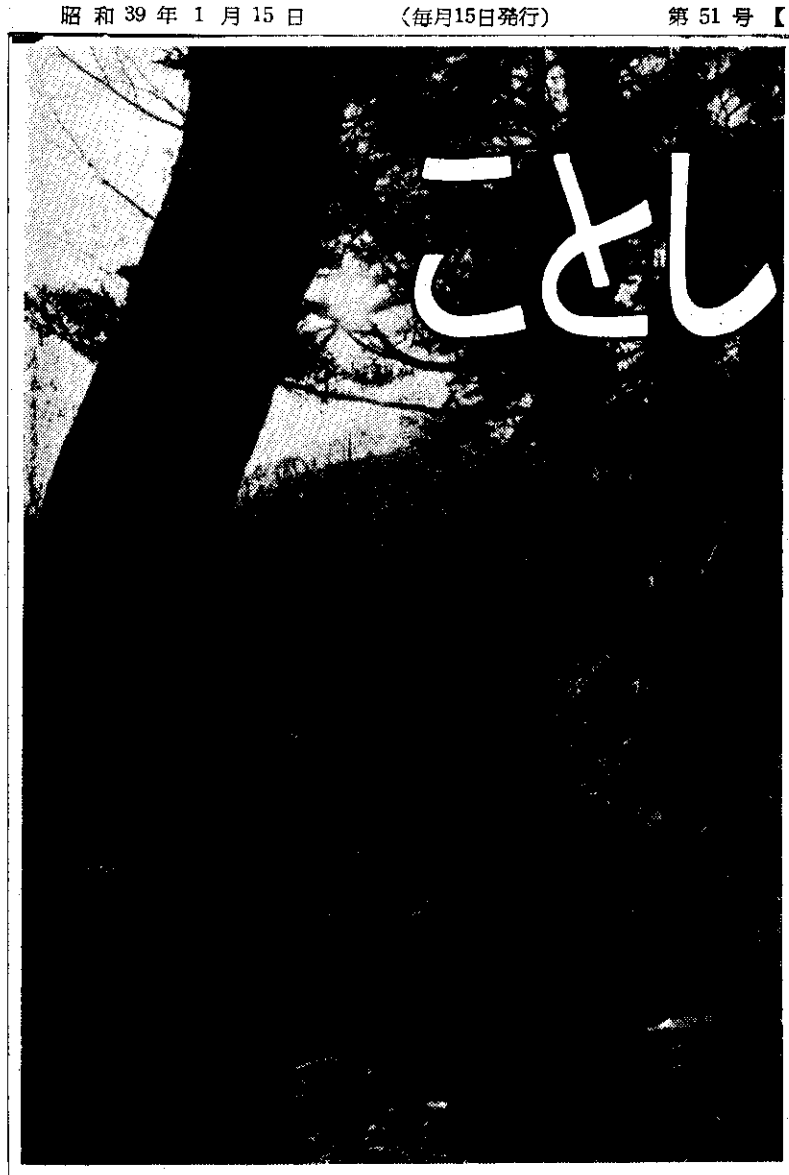
1月1日の人口と世帯

世帯数	2,674戸
男	7,009
女	7,415
計	14,424

1月の納税
一、国民健康保険税　六期

謹賀新年

ことしもおたがいのしあわせをつくるためにがんばりましょう



町長が語る ことしの計画と事業

新庁舎の位置を決定

役場の新庁舎の建築は、懸案の大事業です。

ところで問題は、どこへ建てるかということです。現在までにすすめられてきた相談では、現在の役場から通称鎌倉街道までの県道沿いということで、とても幅の広いものです。これをどんどん縮少して、39年度にはこれからの庁舎にふさわしい位置を決定したい。

位置の条件としては、急速に進展している社会情勢に即応して交通によく、経済、文化の発展によく、環境によく今後の町の発達にてらして町内行政上、また、甥市町村、県、国等との連絡上最も効果を望めるところで、一、二〇〇坪以上の土地が獲保でき、しかも将来拡張できるところでなければなりません。

これから位置選定の話し合いがすすむにつれていろいろな声が出てくると思います。どうか個人の利害ばかりを考えず、前述した条件にしたがつて町全般の立場を考え、ご協力くださるようお願い申し上げます。

大農協の実現と有線放送

町内三農協が合併し、3月1日から甘楽町農業協同組合が発足するはこびになつています。

この農協は強力な態勢をとのえ、今後の農家経済の伸長に大きな効果を発揮するものと考えます。

また、甘楽町農協発足の記念事業の一つとして有線放送事業がとりあげられ、全町内に放送網がしかれようとしています。完成すれば、農協のこと、役場のこと、学校のことなど家庭にいながらつぶさに知ることができ、みなさんは、あまりの便利さにきつと驚かれることでしよう。

町でもこの仕事に側面的に協力したい。

町営住宅 二十戸建てたい

町を発展させるためには産業の発展はもちろんですが、人口を増加させることと、財源をつくる仕事が必要です。それには工場誘致も必要ですが、住宅難を解消して町内に多くの人が住めるように、町営住宅の建築をしたいと考えています。この町営住宅を39年度に二十戸建てられるようにしたいと考えています。

町民税の減税

39年度は、町民税が約三七七万円減税になる見込みです。

これは地方税法の改正によつて、39年からは課税方式が全国統一され、従来当町で採用してきた課税方式とことなつてくるためです。

なお、電気ガス税も、38年度は百分の八の税率ですが、39年度からは百分の七に引き下げられ、町税としては約四五万円が減收となる見込みで合計四二二万円が減税になります。

したがつて、家庭ではこの分が安くなる見込みです。

新庁舎の建設 早く解決したい

みなさん、あけましておめでとうございます。

ことしも、町長が語るように大きな事業が山積しています。しかし、なんといつても町のセンターである新庁舎の建設が大事業であり、住民の一大関心事であると思う。私たち議会人にとつて、これを一日も早く解決する責務があります。

私は、この問題にみなさんと共にガツチリ取り組みたいと考えています。ご協力をお願いします。

甘楽町議会議長　柴山俊一

小幡中に

屋内体操場を

この屋内体操場は、鉄骨造りで二〇〇坪から二三〇坪ぐらいのものを計画し、39年度には地方税法の改正によつて、39年からは課税方式が全国統一され、従来当町で採用してきた課税方式とことなつてくるためです。

なお、電気ガス税も、38年度は百分の八の税率ですが、39年度からは百分の七に引き下げられ、町税としては約四五万円が減收となる見込みで合計四二二万円が減税になります。

したがつて、家庭ではこの分が安くなる見込みです。

産業教室の建築

第一中と第三中はそれぞれ36年、37年に産業教育の指定となつています。そこで、38年度に産業教室の建築を計画し、予算を計上しましたが国庫補助の対象にならず、残念なことに実現できませんでした。これが39年度には対象見込みなので、ぜひ実施したい

この産業教育というのは技術の修得はもちろんのこと、これを通じて勤労に対する正しい信念をもたせ、工夫創造の能力をやしない、経済自立できるような人間をつくることにあります。

農業構造の改善事業

この事業は、農業全般にわたる経営方法を改善し、農家の所得を増大することを目的とするものです。

39年度はその計画年度で、40年度に実施されます。町ではこれに備えて推進協議会を結成し、計画をおしすすめるにはぜひ実現させたいと思いますが、文部省からの割当てのわくが少ないので楽観を許さない実情です。しかし、最善の努力をして実現させたい

給食、全校に実施さる

ご存知のように、小幡小・中学校はすでに完全給食を行なつていますが、残る学校も新年を迎えて一斉に給食を開始しました。このうち、第一中、福島小、新屋小の三校は完全給食で、第一中に建てられた給食センターで三校の調理が行なわれ、それぞれ配達されます。

また、秋畑小、第三中はミルク給食のみ開始しました。この両校についても、一日も早く完全給食ができるよう努力したいと思います。

国有林野の払い下げ

国有林野の払い下げはすでに六〇町歩余が行なわれましたが、残る約二〇町歩の払い下げが38年度中に実現されます。これで払い下げ面積は約八〇町歩になりますが、これを含めた町有林約一九〇町歩に対しては森林開発公団による造林及び融資造林、育成、あるいは樹種改良を積極的に行ない、当町の財政百年の大計を樹立したい。

鏑川土地改良事業の再開

一部の支障のために一時中止となつていた鏑川土地改良事業は、計画を変更し39年度から再開の見込みとなりました。農林省はこれに備え、1月から地区ごとに座談会を開き、受益関係者の同意を得る計画です。

今後における農業開発、地域発展のために、ご協力をお願いしたい。

小幡～多胡線 改修はかる

小幡から天引へ通ずる道路を、バスが通るほどに改修拡張しようとする工事です。

この第一期工事は38年度に小舟地内を行ない、第二期工事は小舟から引田までを計画し、自衛隊にお願いして39年度に行なう計画をすすめています。

開発完了 万場～富岡線

39年度は、いよいよ那須地内の開発が完了する見込みです。残る仕上げも着々すすめられる計画で、完成も遠い夢ではなくなりました。

完成すれば、奥地資源の開発に大きな効果をあげると共に、観光的おもむき豊かなところから、この面でも期待するところが大きく、楽しみの事業の一つとなつています。

役場の事務改善 2月15日から窓口を一つに

現在行なつている仕事を合理化して、住民のみなさんにいままで以上の行政サービスをしたいと考えています。どういうように合理化するのか簡単に一つの例を申し上げますと、みなさんが出生届・婚姻届・死亡届などをする場合には、戸籍係だ、住民登録係だ、やれ国保だ、年金の方にも、配給の方にもと、あつちだ、こつちだと窓口を回わらされるわけです。みなさんにしてみれば、そういうことはなかなかめんどうで、いやなことだと思います。そこで、こんどの改善では、総務課とか、税務課とか、厚生課とかの組織をかえて、みなさんが一つの窓口で申請なり届出をすれば、あつち、こつち歩かされないでもほとんどの用事が済むようにします。このほか全般的に改善が行なわれ、2月15日からこの新しい仕事のやり方にかえる予定になつています。この改善については改めてお知らせしますが、切り替え当初は職員がなれないために、みなさんにご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、どうか温かい心でみていただき、この仕事が成功するようご協力をお願い申し上げます。

このほか、産業経済、社会福祉全般についてさらにいつそうの努力をし、人つくり、町つくりに懸命の努力をしたいと考えています。

以上、ことしの大きな仕事と計画をあげましたが、これは私一人がやるものではありません。議員のみなさんをはじめ、全住民のみなさんといつしよに目的をはたしたいと考えますので、年頭に当り特にご協力をおねがい申し上げます。

塩畑堂橋の完成

間もなく塩畑堂橋が完成しなつかしいつり橋とおわかれすることになります。

完成後は、高崎方面へのバスの運行が計画され、日常生活にプラスする面は大きなものがあると思います。

白倉川の改修

増水時に最も危険なのが白倉川です。そこで、県ではこの川の改修を行ない、すでに小野瀬橋から下流の改修を終えています。38年度中にはさらにその延長工事が三〇〇メートル近く行なわれる計画になつています。

完ぺきな川ができあがり、地域の人たちの不安を解消する日は間もないこととなりましよう。

その他の国道・県道の改修

◇…町谷地内約五〇〇メートルの改修工事が継続して行なわれるよう、同時に、堀沢橋の架け替えも実施されるよう最善をつくしたい。

◇…城町地内の改修も実施できるようにしたい。

◇…国道では、金井地内の極部改修を重点に、七〇〇メートルの舗装の実現をはかりたい。

◇…下高尾～小幡線では、福島地内の小林屋かどの改修が38年度事業として改修されることになつています。